

令和5年度一般会計決算（見込み）について

- 令和5年度一般会計決算（見込み）における実質収支は均衡した。
 - ・ これは、新型コロナウイルス感染症対策等の歳出が減少する一方、国庫支出金等の歳入も減少したことなどによるものである。
 - ・ 人口減少社会や少子高齢化、自然災害への備えなど、構造的な課題が山積している中であっても、全ての「人」が輝く社会の実現、国際競争力の強化、安全・安心の確保に向けた取組など、都が直面する膨大な財政需要に対応していくため、強靱な財政基盤を堅持していく。
- ※ なお、財政状況の詳細については、9月に公表予定の普通会計決算で明らかにする。

○ 令和5年度一般会計決算（見込み）

（単位：億円、％）

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
歳 入 A	84,831	93,329	△8,498	△9.1
歳 出 B	82,129	90,478	△8,349	△9.2
形 式 収 支 C=A-B	2,702	2,851	—	—
翌年度へ繰り越すべき財源 D	2,702	2,851	—	—
実 質 収 支 E=C-D	0	0	—	—

※ 各計数は原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合がある。

【問合せ先】
財務局主計部財政課
電話 03-5388-2669